

セイコーエプソン（株）に対し、 「DBJ環境格付」に基づく融資を実施 —最高ランクの格付を取得—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、セイコーエプソン株式会社（本社：長野県諏訪市、代表取締役社長：小川恭範、以下「当社」という。）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、創業以来培ってきた「省・小・精の技術」を基盤とする、情報関連機器・精密機器メーカーです。気候変動等の社会課題に対し、ものづくり企業の責任として「脱炭素」や「資源循環」等の取り組みを進めており、「環境ビジョン2050」では、2050年に「カーボンマイナス」と「地下資源消費ゼロ（注1）」の達成を掲げるなど、持続可能でこころ豊かな社会の実現を目指しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 環境ビジョン2050で掲げる「カーボンマイナス」の実現に向け、製造業で初めて（注2）国内拠点における使用電力の100%再生可能エネルギー化を達成したほか、ライフサイクルシンキングに基づく環境配慮型設計を導入し、環境性能に優れた商品・サービスの開発を推進している点
- (2) 全てのサプライヤーに対して環境や人権などの観点を含んだ「CSRセルフアセスメント調査」を定期的実施するだけでなく、CSRリスクの高い取引先への改善支援や二次サプライヤーへの調査の展開を進めるなど、持続可能なサプライチェーンの構築に注力している点
- (3) 「持続可能でこころ豊かな社会を実現する」という将来のありたい姿を掲げ、本業を通じて解決すべき社会課題や自社のイノベーション領域を特定するとともに、資源循環技術の開発をはじめとする脱炭素化や環境技術開発に果敢に取り組んでいる点

その結果、当社は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

（注1）原油、金属などの枯渇性資源

（注2）日本のRE100加盟企業の内。2021年10月27日時点（エプソン調べ）

【お問い合わせ先】

企業金融第2部 電話番号 03-3244-1660